

■ 万博パビリオン「電力館」に参画！エネルギーの可能性でワクワクする未来を ■ 電気事業連合会と2025年大阪・関西万博に向けた 包括連携協定を締結 ～ カーボンニュートラル社会の実現に向けた産学連携を推進 ～

このたび関西大学と電気事業連合会は、2025年大阪・関西万博に向けた包括連携協定を2024年4月15日に締結しました。本協定を通じて、電気事業連合会が出展するパビリオン「電力館 可能性のタマゴたち」（以下、「電力館」という）の展示や運営、共催イベント等で相互に連携・協力を図っていきます。

本件の ポイント

- ・電気事業連合会と連携し、電力館の魅力向上や大阪・関西万博の機運醸成に取り組む
- ・本学が有するカーボンニュートラル研究のリソースをパビリオン運営に役立てる
- ・電力館が目指す「エネルギーの可能性」を示し、ワクワクする未来社会の創出につなげる

本協定の目的は、電力館の魅力向上、人材の育成、大阪・関西万博の機運醸成であり、具体的な連携活動は以下の通りです。

- (1) 大阪・関西万博での電力館の展示に関する事
- (2) 大阪・関西万博での電力館の運営に関する事
- (3) 大阪・関西万博での電力館の広報に関する事
- (4) 大阪・関西万博に係る電力館との共催イベントに関する事
- (5) 大阪・関西万博の機運醸成に関する事

電力館は、カーボンニュートラルのさらにその先を見据え、社会の基盤を支える電力業界ならではの視点で未来社会を描くことをテーマとするパビリオンです。エネルギーに関する“可能性のタマゴ”を数多く体験することで「エネルギーの可能性で未来を切り開く」ことができる設計となっています。



<「電力館 可能性のタマゴたち」公式ロゴ>

本学においては、2022年10月にカーボンニュートラル研究センターを設立するなど、従前から推進していたカーボンニュートラル社会の実現に向けた研究を加速させるとともに、情報発信の強化に取り組んでいます。同センターには理工系分野のみならず、社会科学・人文科学系の教員も多く配置しており、文理融合の研究体制を構築している点が本学カーボンニュートラル研究のひとつの特長です。

大阪・関西万博に向けては、本学が有する研究リソースを電力館の運営に役立てるとともに、催事スペースを活用した共催イベントの企画等を通じて、エネルギーやいのち輝く未来について「ワクワクする体験」を提供できるよう、連携して取り組んでいきます。

(関連リンク)

- ・電力館 可能性のタマゴたち <https://www.expo2025.or.jp/domestic-pv-index/electric/>
- ・関西大学カーボンニュートラル研究センター <https://www.kansai-u.ac.jp/renkei/cnrc/index.html>
- ・関大万博 GOTO2025 特設サイト <https://www.kansai-u.ac.jp/expo/>

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：小林、伊地知、明原

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-0007 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp